

2021年8月5日

京王プラザホテル ニュースリリース

京王プラザホテル フィーチャー100
～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：若林克昌）は、今年開業50周年を迎えました。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードをシリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 74 やきものの魅力と文化を発信し続けてきた有田焼イベント

京王プラザホテルの夏を彩ってきた風物詩のひとつ、有田焼のイベント。館内に涼を呼ぶ伊万里・大川内山の風鈴の音色や、ロビーに展示される染付や色絵、白磁・青磁など選りすぐりの器を毎年楽しみされているお客様も多くいらっしゃることでしょう。その始まりはホテル開業10周年の1981年に遡ります。

第1回「大有田ぶらざ市」は、日本の陶芸文化を見直し、現代の暮らしに生かす提案を盛り込んだ文化発信型のイベントとしてスタート。陶器の展示販売のみならず有田焼に精通した方々を招いての文化フォーラムなど、これまでにないプログラムが大きな反響を呼びました。以降、「有田・伊万里やきもの夏まつり」と名称を変えても毎夏の人気イベントとして受け継がれ、2019年の開催で実に39回を数えています。

ホテル開催の魅力は、古伊万里や人間国宝の名品、貴重な個人コレクションなど、通常は美術館で展示されるような作品にも身近に触れられること。なかでも佐賀県と共催した2016年のイベントは有田焼創業400年を大きく盛り上げ話題となりました。さらには毎年趣向を変えて創作される食と器のコラボレーションも、多彩なレストランを擁するホテルならではの楽しみに。人間国宝の井上萬二氏をはじめ、有田を代表する陶芸家や地元の窯元の方々との親交も、ホテルのかけがえのない財産となっています。



■VOL. 75 数字でみる京王プラザホテル50年

2021年6月5日、京王プラザホテルはおかげさまで開業50周年を迎えました。この50年間で数字で振り返ると、いかに多くのお客様にご愛顧をいただいていたかがわかります。

1971年6月、日本初の超高層ホテルとしてスタートしてから今日までにお迎えしたお客様は、世界100カ国以上から実に約1億6,000万人。

ご宿泊いただいたお客様は約3,200万人、レストラン&バーをご利用いただいたお客様は約9,800万人、そしてご婚礼を挙げられたのは約3万7,000組に上ります。

国賓をはじめ伝説的な著名人や世界のVIPをお迎えしたこともありました。業界初や都内ホテル初のユニークなプランやイベントの数々が、大きな話題を呼んだこともありました。時代に合わせ、お客様に合わせ、お一人おひとりのご要望に寄り添うなかで、ご宿泊もウェディングもレストランでのシーンもつねに新たなおもてなしのかたちをお届けしてきた50年。積み上がった大きな数字の一つひとつにお客様の笑顔が重なります。

開業時、人々の出会いと集いを演出する「広場(プラザ)」を目指した熱い想いはこの先もこれまでの感謝とともに、今また新たな一歩を踏み出しています。



本件に関するお問合せ先：株式会社京王プラザホテル
営業戦略室 企画広報 杉浦 陽子・小田 カ・川嶋 慶子・波多野 千恵子
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479
www.keioplaza.co.jp

